



1



2



3



4



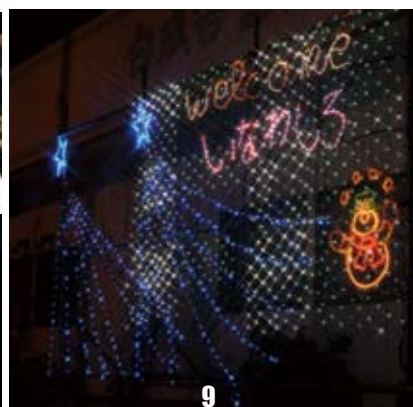
5



6



7



9

## 色とりどりの光が商店街を彩る

町内の中央商店街や猪苗代駅前などを鮮やかに彩るイルミネーションの点灯式は12月17日、如風庵で開催されました。昨年に続き、商店街の街路灯25基に、町民らが制作したステンドグラス50枚が張られ、そのお披露目会も併せて開かれました。5月上旬から約半年間、週2回講座を開き、延べ683人が参加したなど事業の概要が説明された後、指導に当たったステンドグラスアーティストの松崎徹さんがあいさつをしました。制作に参加した加藤より子さん(天鏡台温泉)は「仲間と励まし合い、助け合って2枚仕上げることができました。来年もまた参加したいと思います」と感想を述べました。

約1万5千個の電球が商店街を明るく照らしているほか、まちのえき「まるしめ」、中央商店街駐車場、工房ポプリ、六角橋交差点とJR猪苗代駅前の5カ所には、趣向を凝らした大型のイルミネーションが設置され、通行人を楽しませています。皆さんが制作した街路灯のステンドグラスとイルミネーションで彩られた中央商店街。ぜひご覧ください。

1\_中央商店街駐車場の前  
2\_今年設置したステンドグラス  
3\_あいさつをする松崎さん  
4\_「まるしめ」でのステンドグラス制作の様子  
5\_「まるしめ」前  
6\_式でスイッチを押し点灯を祝う関係者ら  
7\_イルミネーションとステンドグラスで彩られた街並み  
8\_六角交差点  
9\_六角交差点



## Pick Up

今月のイベント

## 500 回忌記念 猪苗代兼載を 考える集い

猪苗代が生んだ室町時代の天才連歌師、猪苗代兼載の500回忌記念事業「猪苗代兼載の故郷に集う」は11月24日、学びいなかで開催され、町民など約250人が理解を深めました。かねてから兼載の顕彰事業などに取り組む小平潟区の主催によるもので、同区が発行した兼載の伝記や連歌集なども配布されました。

2部構成で、第1部では聖心女子大名誉教授、コロンビア大客員教授の奥田勲さんが「猪苗代兼載の故郷と詩」と題して講演。連歌の手ほどきをした後、兼載の経歴や人物像などについて解説しました。第2部のパネルディスカッションでは、猪苗代の偉人を考える会の小樽山六郎さんをコーディネーターに、土屋重憲教育長、埼玉県立皆野高教諭の戸田純子さん、会津若松ザベリオ学園高教諭の田中雅子さん、歴史研究家の沢井恵子さんが意見を交わしました。

会津若松市から訪れた佐藤隆夫さんは「小平潟区を取り組みにより兼載の伝記や歌集が発行されたことは意義深い。このような資料が広く町民に行き渡ることは、町民文化の向上に貢献することになる。小平潟区の皆さんのご努力に感謝します」と話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ

## 広報 猪苗代

Jan.2013  
1  
No.627

### 今月の表紙



【撮影日】 12月11日  
【撮影場所】 猪苗代保育所

猪苗代保育所のもちつきで楽しそうにきねを持つのは、さくらA組の後藤琉生ちゃんと佐藤友美ちゃん。先生や子どもたちの「よいしょー」という掛け声に後押しされ、元気にもちをつきました。

## Contents — 【目次】

- 02 年頭のごあいさつ
- 04 Pick up
- 05 商店街イルミネーション点灯式
- 06 申告相談会
- 09 年金記録再確認のお願い
- 10 スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO
- 12 まちのわだい
- 14 笑顔でこんにちは／猪苗代そば紀行／保健だより
- 16 学びの泉
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー